

区分	専門分野	単位	1単位
科目名	老年看護学概論	時間数	30時間
講師名	非常勤講師・専任教員	履修学年	1年次
概要	老年期にある対象の特性を総合的にとらえ、老年看護の役割を理解できるとともに、老年保健の意義、保健、医療、福祉の動向と課題を知り、他職種との連携について理解できる。		
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 加齢・老化の概念が理解できる 2. 老化に伴う社会的側面の変化と高齢者の生き方が理解できる 3. 老化に伴う身体的・生理的側面を理解できる 4. 老化現象に伴う心理・精神的側面の個別性を理解できる 5. 高齢者のQOLを考えた看護が理解できる 6. 高齢者の人権と倫理問題を理解できる 7. 高齢社会に対する保健医療福祉制度の動向が理解できる 8. 高齢者を取りまく家族形態の変化が理解できる 9. 地域包括ケアにおける協働・連携の重要性と看護の役割が理解できる 10. 高齢者特有のリスクマネジメントとして医療事故予防や災害時の看護支援が理解できる 		
授業内容			
回数	学習内容	授業形態	
1	高齢者（老年期）とは 老いのイメージについて（事前宿題） 事例「高齢者の健康の捉え方」についてGW	講義・演習	
2	高齢者の身体的特徴 高齢者の罹患しやすい疾患、老化による日常生活への影響をGW	講義・演習	
3	高齢者の心理的特徴 事例「無気力・依存」状態にある患者への関わり方についてGW	講義・演習	
4	高齢者の社会的特徴 職業引退の意味、働き続けることの意味についてGW	講義・演習	
5	老年看護の役割 事例「高齢者の入院」が日常生活に与える影響についてGW	講義・演習	
6	老年看護の目標	講義	
7	老年看護における看護理論	講義	
8	高齢社会の保健医療福祉	講義	
9	介護保険制度	講義	
10	高齢者の人権と倫理問題	講義	
11	高齢者と家族	講義	
12	外来における高齢者への看護の役割	講義	
13	保健医療福祉サービスのあり方（地域・在宅の意義、退院支援）	講義	

14	保健医療福祉サービスのあり方（在宅看護、施設看護）	講義
15	高齢者の医療安全・災害看護	講義・試験
使用教科書・教材・参考書		
新体系看護学全書 老年看護学① 老年看護学概論 老年保健 メヂカルフレンド社		
新体系看護学全書 老年看護学② 健康障害をもつ高齢者の看護 メヂカルフレンド社		
成績評価の方法		
筆記試験 100%（1～7回50%、8～10回 20% 11～15回30%）		
備考		
1～7回目 専任教員、8～15回目 非常勤講師		
演習時は各クラス、その他は合同授業		